

意栖<sub>二</sub>碧山<sub>一</sub>。笑而不<sub>レ</sub>答心自閑。桃花流水春<sub>レ</sub>去。別有<sub>二</sub>天地非<sub>二</sub>人間<sub>一</sub>。の句の如きは、この邊の消息を物語るものと思ふ。人若し一たび此の境地に達するといふ、我が心即ち、天地の心であつて、些の撞着も、亦少しの留滞もない事は、恰も清い流れのやうであつて、其の、思想なり行動なり、何れも、無企圖的、自然的であつて、調和もあり、統一もあつて、美と善とは渾然と一致するのである。「ヴィクトル・クーザン」は、道徳美は、凡ての美の基礎である。此の基礎は、幾分、自然の爲めに掩はれて居る。藝術なるものは、之を發いて更に明瞭な形を與ふるものである、と言つて居る。若し、我々人類の最終理想が、善美一致のものであり、而して藝術と道徳と、何れも此の理想を實現する所以の方法であるとすれば、クーザルの言葉は我々を欺かないものと思ふ。(五月十五日筆記)

山村夜燈 (龍雲山莊十小記之一)

暮色蒼然。出<sub>レ</sub>庭而望。則落霞橫<sub>レ</sub>空。澹澹蕩蕩。大麓之下。孤村燈火。點點耿耿。與<sub>二</sub>岩淵街燈<sub>一</sub>。遐邇相映。如<sub>二</sub>螢火散<sub>二</sub>飛蘆蒲間<sub>一</sub>。亦奇亦幽。

細田 劍堂

青島攻陥後に於ける對支關係

文科二部三年 生田、登地、小澤 佐藤、東、山田

昨年の夏、歐洲の平和は破れ、大戦争は始まりました、其餘波は遠く傳はつて東洋に及び、我國は、青島に向つて、軍を進め、こゝに獨逸と戦を交へる事となりました。其以來三ヶ月間、或は地上に、或は空中に、又海の上に砲火は交へられました、遂に我軍の勝利となりまして、十一月七日青島は陥り、獨逸の東洋に持つて居つた、根據地を碎いたのであります。全十六日には入城式も濟んで、こゝに、一段落を告げました。

青島攻陥後支那では、これを全部還附する様に望みましたが、帝國は戦争の善後策として、攻圍軍司令官を代ふるに青島守備司令官として、神尾中將を任命して軍政を布きました。其後税關問題に付いて、意見や要求の合はない所がありまして、幾分感情の上に面白くない事がありまして、日を過して居りましたが、交戦地域撤廢に關する支那政府の通告は、

帝國をして日露戦争後、行き懸となつて居りました諸問題を、解決しやうとの決心を起さしめたのであります。即ち大正四年一月十八日を以て、袁總統の下に、差し出されました對支要求は、これでありました。其要求は全部五項二十一ヶ條で内容を見ますと大体次の通であります。勿論、其當時は秘密にされて居りました。

- 一、山東省に關する問題。
- 二、南滿洲、及、東部内蒙古に關する問題。
- 三、漢冶萍公司に關する問題。
- 四、支那一般沿岸不割讓に關する問題。
- 五、懸案の解決、及、其他に關する件。

以上の中、第三項にあらはれました、漢冶萍公司と申しますのは、一つの會社でありまして、漢陽・大冶・萍鄉この三つの地名をつめたものであります。それは大冶鐵山の鐵を、萍鄉の石炭を以て、漢陽で製鐵する會社で、我國内地のものとも關係が深い會社であります。

五項の中、最も重要と見られます第一項、及、第二項につきなは詳しく其内容を調らべますと、